



令和5年4月12日

**G7 広島サミット&広島大学 75+75 周年記念事業の一環として、
“食料安全保障シンポジウム～食料の量・質の担保と生物多様性
維持の両立は可能か?～”を4月22日に開催します**

情報提供

来る2024年は広島大学の創立75周年であり、その前史である75年も加えると150年という節目の年に当たります。また、来月にはG7広島サミットが開催されます。この記念事業の一環として、広島大学は“食料安全保障シンポジウム”を下記のとおり開催します。

本シンポジウムでは、食料安全保障のための政府の基本方針に加え、世界規模の食料安全保障に貢献できる日本最先端の研究事例を生物多様性の維持の観点ももちながら紹介します。

本学研究者からは、動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術や、海底水を自動で高所に揚げる装置を利用した牡蠣（カキ）の増産、塩害に強いイネに関する研究を紹介いたします。

広島大学の理念5原則（平和を希求する精神、新たなる知の創造、豊かな人間性を培う教育、地域社会・国際社会との共存、絶えざる自己変革）に基づき、本学は「食料安全保障」に関する国際課題の解決に貢献するべく、共創・創発的な教育研究に取り組んで参ります。生命の維持に欠くことができないものである“食料”について、ご参加の皆様一人一人改めて考えていただくだけでなく、食料安全保障に関わる人材育成の一助となれば幸いに存じます。

記

【日時】 4月22日（土）14：00～16：30（開場 13：30）

【会場】 広島大学サタケメモリアルホール（東広島キャンパス）

【講演者】 [ビデオメッセージ]

岸田 文雄 内閣総理大臣

[基調講演]

杉中 淳 農林水産省大臣官房総括審議官

[日本の研究紹介]

北島 薫 教授（京都大学）

吉崎 悟朗 教授（東京海洋大学）

川島 一公 CTO（株式会社インテグリカルチャー）

水野 英則 技術本部本部長（株式会社サタケ）

[広島大学の研究紹介]

杉野 利久 大学院統合生命科学研究科 教授（応用動植物科学プログラム）

小池 一彦 大学院統合生命科学研究科 教授（水圏統合科学プログラム）

上田 晃弘 大学院統合生命科学研究科 教授（応用動植物科学プログラム）

【対象】 誰でも参加できます（“食”への関心がある方、高校生以上推奨）

※入場無料

【申込み】

<https://onl.bz/XJQYtDU> または QR コード→



【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

宮良 晶子、重藤 潤、久保田 旭

E-mail: husympo@hiroshima-u.ac.jp

TEL:082-424-2057、4532、4482

発信枚数：A 4 版 4 枚（本票含む）





広島大学



Creating the Future
SATAKE

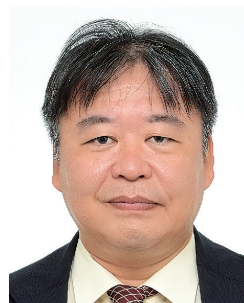


食料の量・質の担保と
生物多様性維持の
両立は可能か？

2024 G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念事業
食料安全保障シンポジウム

Food Security Symposium
2023 4.22 SAT
14:00-16:30
開場 13:30~

- 会場：サタケメモリアルホール（広島大学 東広島キャンパス）
- 対象：どなたでも参加できます。



杉中淳



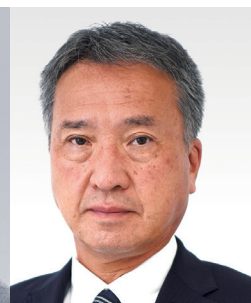
北島薫



吉崎悟朗



川島一公



水野英則

【司会】 理事・副学長 (教育・平和担当) 広島大学	14:00~	開会挨拶	越智光夫 広島大学長
	14:05~	ビデオメッセージ	岸田文雄 内閣総理大臣
	14:10~	基調講演	日本の食料安全保障対策について 杉中淳 農林水産省 大臣官房総括審議官
	14:30~	事例報告	1 生物多様性を維持する持続的な農業 北島薫 教授(京都大学 農学研究科) 熱帯林の生物多様性とグローバルな食料安全保障 2 生物多様性と質と量を確保する農業技術開発 吉崎悟朗 教授(東京海洋大学 海洋科学技術研究科) 生殖幹細胞を使って魚を増やす：有用魚の増産と希少種の保全 3 新たな食料資源の開発 川島一公 (株)インテグリカルチャー 取締役CTO 環境コストの削減と食糧自給率の向上を実現する細胞性食品(培養肉)の開発 4 食料安全保障への取り組み 水野英則 (株)サタケ 先行技術本部 本部長 食の安全・安心と質・量を確保する技術
	15:50~	広島大学研究紹介	光と熱環境で動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術 杉野利久 教授(広島大学 大学院統合生命科学研究科) 海底水自動揚水装置SPALOWによる牡蠣(カキ)増産 小池一彦 教授(広島大学 大学院統合生命科学研究科) 世界で広がる塩害問題~耐塩性イネを作る試み~ 上田晃弘 教授(広島大学 大学院統合生命科学研究科)
	16:05~	パネルディスカッション	MC：島田昌之 教授(広島大学 大学院統合生命科学研究科)
	16:25~	閉会の挨拶	理事・副学長(研究担当) 広島大学

事前登録制
参加無料
定員 **500**人

主催
広島大学 株式会社サタケ

特別協賛

お問い合わせ
広島大学 学術・社会連携室
TEL.082-424-2057 / 4532 / 4482 E-Mail : husympo@hiroshima-u.ac.jp

シンポジウム参加のお申し込みは
右記のQRコードより登録ください。
申込締切
2023年4月15日 土



(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学広報室 行

G7 広島サミット & 広島大学 75+75 周年記念事業の一環として、
“食料安全保障シンポジウム～食料の量・質の担保と生物多様性
維持の両立は可能か?～” を 4 月 22 日に開催します

日 時：令和 5 年 4 月 22 日（土）14 時～16 時 30 分

場 所：広島大学 サタケメモリアルホール（東広島キャンパス）

☐ ご出席

☐ ご欠席

貴 社 名 _____

部 署 名 _____

ご 芳 名 _____（計 名）

電 話 番 号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、4 月 21 日（金）15 時まで
にご連絡願います。